

令和元年11月18日

令和元年度 第2回 大阪府立枚方高等学校学校運営協議会議事録

協議会委員

堅田利明、高田 茂、北村 剛、森 隆裕、麻生恭子、井谷和子

事務局

小嶋信男 校長

田原 聡 教頭

山口範晃 事務長

前出和彦、富田哲司、中村秀治、藤本信吾、梅崎 亮、高沖 敦

進行 本校教頭 田原 聡

1 学校長挨拶

学校の現状についていろいろとご意見を賜りたい。

2 事務局より

(1) 国際文化科への再編整備にむけて

次年度の入学者が国際教養科としては最後になる。令和3年度から府下に6校ある国際教養科を国際文化科に改編。

*資料（国際文化科ロードマップ）をもとに現在までの取り組みを説明

基本的な本校のビジョンは国際教養科と大きくは変わらないが、今にもましてより発信し、行動していく生徒像を意識する。また、卒業後の進路やその後の人生を真剣に考えられる学科・学校にする。

*新しい学科づくりに向けて、先生方の意見を広く取り入れるために校内研修を2回実施した。

*次回はもう少し具体的な話ができると思う。

(2) 首席より

授業アンケートの結果について

全体的には上がっている。高すぎるとも思う（生徒たちの評価が甘い？）が、生徒は先生方の取り組み（アクティブラーニングなど）を評価している。

英語民間試験の本校の取り扱いについて

本校ではGTEC（ベネッセ）を導入しているが、既報の通り次年度より実施予定だ

った英語民間試験の活用は先送りされた。2年生では8月にすでに実施し、12月には1年生が実施の予定。先日の文科省の発表を受け今後の方針を検討したが、今年度は予定通り実施する。入試準備としてだけでなく、英語4技能は本校でも大きな課題。日頃の授業の成果を試すためにも実施したい。

枚高マップと教科スタンダード

平成27年度に、枚方高校の現在の教育理念や教育内容を、教員全員が共有し、協力して目標に向かって行動できるように、学校全体の指針として「枚高マップ」を、教科ごとの指針として「教科スタンダード」を作成した。「教科スタンダード」については、その後、教科ごとに実践を積み重ね、今もより良い形を目指して改訂中である。

(3) 教務部より

カリキュラム編成作業

令和3年度入学生に備えて国際文化学科のカリキュラム編成作業を進めている。一方令和4年度より施行される新しい「学習指導要領」に則った新カリキュラムについても教科とやり取りを始めている。今回の改訂では社会・国語に大きな変更がある。

令和2年度行事予定

今年度は5月の10連休などの影響で授業の確保が難しかった。次年度は比較的組みやすい。

(4) 進路指導部より

本校3年生進路希望状況

概ね例年通りであるが、大学・短大の割合が若干減った。

本年の入試の特徴

安全志向がつよく、指定校に関心を寄せる生徒が多かった。またAO入試の受験者も増加している。センター試験出願者は昨年よりかなり増えた。188名。本校から私大センター利用入試の合格者が増えている。

高大接続改革に対する対策

情報収集と情報提供を積極的に行ってきた。新入試に向けてこれからが大切。

校内模擬テスト

11月の1・2年生実施分のみ、今年度より全員受験とし、平日に実施した。

英語4技能の取り組み

GTECの導入をはじめ、英語の年間授業計画を工夫し積極的に取り組んでいる。

(5) 生徒部より

学校の現状報告

遅刻は微増。それでも府下では最も少ない学校のひとつである。今後も引き続き重点的に指導していきたい。1年生はほとんどない。

SNSの使用について

学校としても大きな課題だと意識している。指導も大切。

学校行事

体育祭・文化祭とも短い時間ながらよくやっている

部活

1年生の加入率は84%。全学年で80を目標にしている。現在は74%。部活動が学校生活のリズムを作っている。

生徒会

夏の豪雨による被災地域に送るため、自主的に募金活動を実施。約2万円集まった。

(6) 文化国際部より

海外滞在研修の報告

2年生 18名 1年生 2名 合計20名

例年と同じくオーストラリアのメルボルンにあるカーラムダウンズ高校で実施した。カーラムダウンズは今年度で12回目。滞在研修自体は通算20回目。実はオーストラリアでは日本語熱が冷めつつある現状がある。今後も受け入れが続くかどうか心配もあるが、今年度もたいへん暖かい歓迎をしてくれた。有意義な体験。文化祭で活動報告を行った。事前学習として校内で10回の研修を行っている。普通科の生徒も何人か入っている。そこがよいところだと認識している。

学校説明会

秋に2回。午前中。全体説明会・授業・クラブ体験など

今年度は 第1回目 生徒 365人 保護者 189人 合計 544人

第2回目 生徒 455人 保護者 220人 合計 675人

総合計 1219人

非常に多くの方に来校していただいた。生徒会・部活の生徒などの協力体制も整い、とてもよい行事となってきた。

3 協議、意見交換

議長交代 教頭より会長へ

Q国際文化科への再編整備の話の中でSDGsについても積極的に取り組むという話ができたが、これはどの教科がかかわるのか。

A基本的には「総合的な探究の時間」で実施（全先生方が担当）するが、社会や理科などの教科にもおおきく関りがあると考えている。

Q授業見学について、枚方高校として全体で取り組んでいるのか。また、枚高マップについて、単元計画に落とし込むなど、授業計画にどの程度反映しているのか。

A授業改善に取り組む組織がある。そこが主体となって授業見学週間を設定するなどの取

り組みを行っている。枚校マップは授業・行事をすべて有機的に関連づけた指針図。各教科のより細かな指導計画は教科スタンダードが担っている。

Q枚高らしさをどのように出していくのか。学校としての取り組みなのか。個々の努力なのか。

A枚校マップも教科スタンダードも合意できる指針を示したもので、細部にわたる強制ではない。息苦しさがあっては逆効果なので、あまり縛らない。もちろん先生方個々の努力も大きい。

Q今年の1年生に関して。授業アンケートの結果はどうか。

A先生方への評価数値はとても高いけれど、個別の記述部分については厳しい意見もある。

Q新着図書はどのように決めるのか。

A書店の推薦、本屋大賞、先生方からの推薦図書をもとに選定している。図書館の利用率が上がってきている。

議長交代 会長から教頭へ

4 その他

特になし

閉会の挨拶

来年・再来年に向けて大きな変革が待っている。60周年もある。

新たな学校に求められるものも変質してきて、地域への貢献・連携という視点も入ってきた。今後ともぜひご協力をお願いしたい。